



ロータリー：  
変化をもたらす

# 週報

## 入間ロータリークラブ



Rotary  
第 2570 地区



2017-2018 年度 RI 会長:イアン ライズリー RI2570 地区ガバナー: 細井保雄 会長:関谷永久 幹事:宮崎正文

第 21 号 2999 回例会 2017 年 12 月 7 日 (木)

### 『今日もロータリーしましょう!』

#### <ビジター・ゲスト>

米山記念奨学生

李 秀美 様



昨日米山奨学生のクリスマス会に行き、手話やゲームをして楽しんで来ました。

#### ■ ■ ■ クラブ年次総会 ■ ■ ■

指名委員会後、諮問委員会を開催、第 2 号議案 入間 RC デジグネートに忽滑谷明会員を指名しましたのでご審議願います。

○総会にて全会一致で承認されました。

#### 齋藤栄作エレクト

幹事には豊田義継会員、SAA は木下登会員に決定しております。その他の役員に関しては良く考慮いたしまして決定させて頂きますので宜しくお願い致します。

#### ■ ■ ■ 米山功労者

マルチプル 6 回目=後藤賢治会員

3 回目=大野賢次会員・関谷永久会員

西山祐三会員

2 回目=繁田光会員

功労者=豊田義継会員・奥富茂生会員

#### <今月のお祝い>

会員誕生日	石川嘉彦君	忽滑谷明君
	木下登君	滝沢文夫君
	杉田宏充君	細淵克則君
	荒井正武君	晝間和弘君
	西山晴世様	宮寺美智子様
結婚記念日	佐藤輝武君	

#### <会長の時間> 関谷永久会長

国際ロータリーでは今月を疾病予防と治療月間と決めています。当クラブでも健康管理委員会にてインフルエンザ予防接種を毎年この時期に実施して会員及び家族の健康管理に貢献しています。



医学では病気になったら治す「治療医学」に対して病気にならないように予防する「予防医学」があります。これには一次から三次まで分けられています、一次予防には生活習慣・環境の改善、予防接種など、二次予防は早期発見・対処、重症化予防など、三次予防は機能回復、社会復帰、リハビリテーションなどに分類されています。これらは究極的には健康で長生き『寿命の延長』を目標にしています。

私は前回、人間が IOT を利用し社会環境や生活環境を大きく変えて行くお話をさせて頂きました。今回は『進化するイノベーションは人間の寿命を延ばすことが出来るか』、について ICT の側からお話をしたいと思います。

ヒトの遺伝子の塩基配列をコンピューターで解析するヒトゲノム計画において 1 パーセントを解析するのに 7 年を要したわけですが、全てを解析するのに、その 100 倍 700 年掛かると多くの科学者が予測したそうです、これは線形的 (倍数比例) な将来予測でした。しかし情報通信技術 ICT は線形的な発展ではなく指数関数的 (倍々ゲーム) 発達をして全て解析するの

に7年後の2003年に終了しました。AIも同じように発達し2016年には人間の著名人に勝っています。この様にAIの進化を見るとコンピューターが全ての分野で人間を超えるのは2029年であるとグーグルの技術顧問であり未来学者のカーツワイル氏は言い切っています。

「人間の能力を超えたコンピューター」は先ず人間の寿命を格段に伸ばすでしょう。私達が元々備えている自己防衛力の一つが免疫系ですが、老化に伴って顕在化してくる疾患に対して役に立ちません、進化は長寿を選択していません、自然界の食糧にも限界があります。25歳を過ぎて子育てが終われば進化はお役御免です、事実1000年前人間の平均寿命は19歳、1800年で37歳でした、当時一歳未満の子供の死亡率が格段に多かったのが原因だと思います。

現在スマホの様なデバイスは主に通信手段として使われていますが発達した人工知能は2030年までにはそのデバイスが血球ほどの大きさになり、そのロボットは血液中に入り免疫力を拡張してくれて結果として人間の寿命は大きく伸びる事になります。この医療用のナノロボットは基本的にワクチンと同じ働きをします

## ＜幹事報告＞ 宮崎正文幹事

第6回 定例理事会 <協議事項>

1. 30年2月のプログラム
2. 10/28・29 万燈まつり会計、
3. 11/9 万燈まつり反省会会計
4. 第3グループIMについて
5. 次年度青少年交換留学生
6. 次年度第3グループガバナー補佐
7. クラブ内規の一部変更について

<報告・予定等>

- ・12/3(火) 米山記念奨学部門第2回カウンセラー会議及びクリスマス会
- ・12/5(火) 第3回 第3G 会長・幹事会
- ・12/10(火) 派遣学生オリエンテーション
- ・12/19(火) 入間南RCクリスマス家族会
- ・12/15(金) 市内統一年末パトロール (豊岡中学校区青少年健全育成推進会)
- ・1/5(金) 入間市表彰式・新年賀詞交歓会
- ・1/10(水) 入間基地賀詞交歓会
- ・1/16(火) 武蔵中学校区「地域交流研修会」
- ・1/16(火) 入間青年会議所賀詞交歓会

## ●委員長報告

### <クラブ奉仕委員会> 滝沢文夫委員長

21日の蕎麦例会はご案内してありますが、例会後の食事となります。念のため再度ご案内します。2,3月のプログラムに空きがあります。我こそはと思われる方は会員卓話をお願い致します。

### <職業分類委員会> 吉永章子委員長

平成29年8月、理事会にて入会を受理されました、飯能資材の細田浩司君を建材販売と分類させて頂きました。後半もご推薦者、会員増強、会員選考、職業分類、各委員会との連絡を密にして業務遂行させて頂きたく思っています。

### <会報・雑誌委員会> 吉沢誠十委員長

★12月は疾病予防と治療月間★

○横書き

- P14 日本から命を守る 新しいいちから  
「遠隔医療システム」
- P28-29 米山記念奨学事業 50年の歩み②
- P39 ロータリー財団管理委員長の思い  
「パートナーシップの目的と力」

○縦書き

- P4~8 スピーチ  
「人は癌とどう向き合うのか?」
- P20~21 卓話の泉 「心不全にご注意」  
「防犯カメラの効果的活用」

### <親睦活動委員会> 木下登委員長

来週のクリスマス家族例会は人数が少なく皆様で盛り上げて頂き、ご協力宜しくお願いします。

### <ロータリー美術館> 水村雅啓館長

1月10日に田中市長をお迎えしてのロータリー美術館に出品ご協力お願いします。また3月には日帰り美術館もごさいますので、宜しくお願いします。

### <米山奨学委員会> 一柳達朗委員長

3日に米山奨学会のカウンセラー会議とクリスマス会に出席して来ました。その中でプレゼン交換の方法を当クラブでも参考にすると良いと思いました。

### <健康管理委員会> 山根宏夫委員

恒例のインフルエンザ予防接種を受けました。



## ＜出席報告＞

金井祐一委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
44名	27名	67.5%	83.72%

事前欠席連絡

## ＜ニコニコBOX＞ 田中快枝 S A A

★次女が北里獣医学部獣医学科に入学することになりました。「滝沢文夫君」

★山根先生インフルエンザ予防接種ありがとうございます。これでまた頑張れます。「白幡英悟君」

★滝沢さん柚子ありがとうございます。



「友野政彦君、吉永章子君、粕谷康彦君、吉沢誠十君、繁田光君、晝間和弘君、宮崎正文君、田中快枝君、一柳達朗君」

★早退いたします。「関根靖郎君」

本日¥66,000 累計¥486,164

## ■回覧、配布物

- ① ガバナー月信・ロータリーの友 12月号
- ② 12/21 蕎麦例会出欠表
- ③ 1/25 新年会出欠席表
- ④ 他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑤ RI2570 地区ロータリー財団奨学生募集ポスター掲示のお願い
- ⑥ 本日の卓話資料



記念パッチ作成 全会員に配布



## ■ ■ ■ 会 員 卓 話 ■ ■ ■

## 《わがクラブ黎明期》

齋藤金作会員



20世紀が中頃にさしかかった頃、世界が殆んど2分された戦争が起きた。第2次世界大戦=第2次大戦と呼ばれ、ファシズム体制をとる日、独、伊3国(枢軸国)と米英、仏、ソなどの連合国との間に起った世界規模の大戦争である。

1939年にドイツがポーランド侵入、英仏の対独宣戦、1941年6月独ソ戦争勃発、同年12月8日太平洋戦争が起こる(日本真珠湾攻撃)戦域は全世界に拡大。42年夏以降、連合国は総反攻に転じ43年にはスターリングラードにおけるドイツ軍の大敗、イタリアの降伏、45年5月ドイツ軍降伏、そして最後の砦を死守した日本も8月に降伏となり戦いは終わった。

戦争終結と同時にR I も急激に活発に動き始める。大戦前から戦中、枢軸諸国政府によって解散を命じられていたロータリークラブが所属した国々に再建問題があり、1945～48年の3年間で大きな進捗がみられた。1945年末までに66クラブ復帰が認められ、1947年には枢軸国最初の国イタリアの仲間入りが認められ、この運動はその頂点に達した。ドイツと日本についても当然討議されたが、両国復帰については一部に強い反対意見があり、R I 理事会は心ならずも決定を延ばし冷却期間をおくこととした。予測不能状況にあり、問題はR I 理事会が、すべての事を考慮して、いつ決断を下すべきかを問われていた。

この問題について1948-49 R I 会長、アッガス・ミッチェル卿はこの問題を次のように考え適切に処理すべきであると確信し着実に実行していった。

1. ドイツ日本は強権によってクラブは閉鎖されたが、元会員の心中と脳裏にはロータリー精神が依然として生きていることと確信。
2. 戦争中の悪感情はひとたび道が開かれさえすれば、ロータリーのフェロウシップによって殆んど例外なく忽ち雲散霧消する
3. 戦争の歴史を教える教育がいかに信頼をおけないものであろうとも、明白な教訓が一つある。古代史であろうと近代史であろうと、歴史というものは戦争から戦争にかけて、時には戦争の途中において、味方と敵が入れかわる記録である。そして常に変わらない敵は戦争そのものである。
4. かつての敵国の人々と交誼を結ぶことを拒むことは、我々自らを友人に恵まれることの少ない生涯におとし入れることになるだろう。

このミッシェル自身の考え方と判断の遂行によりロータリーはドイツと日本に再建された。このあいだの尽力者にR I 第3代事務総長ジョージ・ミーンズ氏の活動があったことを忘れてはならない。

アッガス・ミッチェルは1948-49年度R I 会長に指名され、会長選挙の行われる国際大会に赴く途中オーストラリアからニュージーランドに立ち寄りオークランドの友人宅に数日間滞在した。この親友こそハロルド・T. トーマス氏(\*)である。アッガスはここで、日・独復帰問題についても更に強固な信念が燃え固まったであろうと思われる。

1949年ロータリーは日本へも帰って来た。7月1日、日本地区として第60地区を正式発足させる。日本RCが再出発した時の大きなけい引役を務めたのが手島友健氏

である。R I の日本語翻訳決定権は彼に委譲され、「四つのテスト」の翻訳の定訳をつけたことでも知られる。

R I に復帰しその2年後、川越RCが埼玉で初のロータリークラブとして誕生。川越RCが熊谷RCを、熊谷が大宮RCを作った。大宮RCは拡大を考え1960年1月に川口RCと同時に入間RCが認承された。

当時、日本社会の動きに眼を転ずると、日米安保条約改定に対する反対勢力の大衆運動との間で、俗に言う安保闘争の嵐の真只、この騒乱に対して何の装備もなく黙々と沈静に努める若い警察官達をみて、これをバックアップすべしと立ち上がった文化人がいた。元毎日新聞野人的ジャーナリストとして有名な阿部眞之助その人である。副会長に徳川夢声、村岡花子など極めて著名な文芸家、評論家を多数理事として発足したのが他ならぬ「警察官友の会」なのである。埼玉は蕨RCの高橋氏が「埼玉県警察官友の会」を創設。

我がクラブの性情を外側から観察分析すると芯の部分が相当頑強なところを時折見受けるが、或いはこれもこんな荒波の中で生まれ出たであろうかと思われる。

\*ハロルド・T. トーマス

「ロータリーモザイク」の著者

R I 理事を経て1959-60年〈武蔵RC誕生年〉R I 会長1974年ロータリーモザイク出版。日本1977年 日訳松本兼二郎

1905~1970ロータリーの進展、変革の歴史65年間を詳細に解説しており、ロータリーの中で発刊された最も顕著な本。ロータリーを知るうえで一番の本である。



#### 発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員：吉沢誠十 吉永章子 繁田光 間野尚 佐藤輝武

